

# 契約変更理由書

神戸市

工 事 名	北野高層配水場急傾斜地崩壊防止対策工事
<p>契約変更後の工事概要</p> <p>法面工 1 式 構造物撤去・復旧工 1 式 仮設工 1 式</p>	
<p>契約変更の理由</p> <p>① 近隣施設より工事の騒音の低減と目隠しについて要望があり、万能塀により仮囲いを設置することとなった。</p> <p>② 仮囲いの単管をインターロッキングブロックに打ち込むと、下部に空洞が見られた。場内のインターロッキングブロック箇所にプラントを設置予定であり施工中の陥没事故を防ぐため、該当箇所の空洞状況の事前確認調査を行う必要が生じた。</p> <p>③ 維持保全部署、近隣施設との再協議により、防草対策として樹木伐採と伐根を追加した。</p> <p>④ 樹木囲い対象であった木を伐採することとしたため、樹木囲い工は廃工となった。また、洗堀復旧工としてふとんかごを施工予定であったが、施工業者と現地立会をしたところ法面対策工同様の施工が可能であると確認できたため、当初予定していた仮設対応としての洗堀復旧工は廃工となった。</p> <p>⑤ 連続長繊維補強土工に伴い、鋼製円型枠を全撤去予定であったが、全撤去が施工予定の法面補強に影響を及ぼすことが判明したため、撤去数を変更した。</p> <p>⑥ 法面の現地調査の結果、削孔長を増長する必要が生じたほか、当初は法面下部の水道施設の影響を考慮し、施工しないとしていた箇所について、削孔長や角度の変更により対策可能であることが判明したため、エキスパンドアンカー工が増工となった。</p> <p>⑦ 設計変更により行った空洞調査や仮囲いの単管打ち込み時の状況から、インターロッキングブロック箇所の舗装が健全でないことが判明したため、舗装箇所を当初予定から増量する。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>	